

第8回移動等円滑化評価会議沖縄分科会 議事録

日時：令和8年9月4日（金）14:00～16:00

場所：沖縄総合事務局 5F 海技試験室（オンライン併用）

< 議 事 >

- （1）沖縄における移動等円滑化の進捗状況について
- （2）沖縄総合事務局の取組みについて
- （3）建築物のバリアフリー化促進
- （4）ユニバーサルドライバー研修について
- （5）知的障がい者等の航空機利用について
- （6）ジャングリア沖縄、バリアフリー取組について
- （7）質疑応答

< 議事要旨 >

以下のような提案、要望があげられた。

- ・リフト付きバスの導入促進について
- ・ヘルプマークの啓発について
- ・ゆいレールの文字情報提供について
- ・タクシーの地理不案内について
- ・UD タクシーの30%目標値について
- ・UD タクシー研修について
- ・沖縄県福祉のまちづくり条例の改正要望について
- ・バリアフリープロモーターの活用について
- ・建築物に関する当事者参画ガイドラインの活用について
- ・航空会社、空港との意見交換について
- ・首里城完成前のバリアフリー関係内覧会について

＜ 出 席 者 ＞

委員

所属	職名	氏名	出欠	代理出席/同行者氏名
NPO法人エンバワメント沖縄	理事長	高嶺 豊	現地参加	
NPO法人バリアフリーネットワーク会議	代表者	親川 修	現地参加	
NPO法人沖縄県脊髄損傷者協会	理事兼事務局長	仲根 建作	現地参加	
社会福祉法人那覇市社会福祉協議会	地域福祉課長	仲程 大輔	現地参加	
公益社団法人沖縄県精神保健福祉会連合会	会長	山田 圭吾	現地参加	
社会福祉法人沖縄県身体障害者福祉協会	会長	山城 充正	オンライン参加	
社会福祉法人沖縄県視覚障害者福祉協会	会長	知花 光英	欠席	
一般社団法人沖縄県聴覚障害者協会	会長	城間 枝利子	現地参加	
公益財団法人沖縄県老人クラブ連合会	常務理事兼事務局長	新城 智美	欠席	
公益社団法人沖縄県手をつなぐ育成会	理事長	津山 順子	現地参加	玉那覇 仰
沖縄県発達障害者支援センター	相談支援員	山埜 恵	現地参加	
NPO法人おきなわ自立支援センター	理事長	田中 寛	現地参加	
沖縄都市モノレール株式会社	技術部長	長浜 正勝	現地参加	
一般社団法人沖縄県バス協会	事務局長	高江洲 誠	現地参加	
一般社団法人沖縄県ハイヤー・タクシー協会	事務局長	津波 古 修	現地参加	
一般社団法人沖縄旅客船協会	専務理事	平良 公孝	オンライン参加	
一般社団法人沖縄県レンタカー協会	専務理事	與古田 思好	欠席	
一般社団法人沖縄県ホテル協会	会長	平良 朝敬	代理(現地)	嘉手刈 孝夫
那覇空港ビルディング株式会社	施設部施設課長	大城 英二	代理(オンライン)	翁長 有希子
一般財団法人沖縄観光コンベンションビューロー	国内事業部長	赤嶺 隆	現地参加	
沖縄県企画部	交通戦略推進課長	兼島 篤貴	代理(現地)	沖口 尚之
沖縄県土木建築部	施設建築課長	當山 真紀	代理(現地)	屋比久 修
沖縄県生活福祉部	障害福祉課長	祝嶺 浩之	現地参加	
沖縄県文化観光スポーツ部	観光振興課長	親富祖 英二	現地参加	神里 長次郎
				比嘉 久枝
沖縄県教育庁	生涯学習振興課長	堀川 恭宏	代理(オンライン)	新城 貴也
沖縄県警察本部交通部	交通規制課交通管制官	松本 竜太郎	現地参加	
那覇市都市みらい部	都市計画課長	前原 信博	代理(オンライン)	兼島 信吾
那覇市福祉部	福祉政策課長	安座間 勉	欠席	
那覇市こどもみらい部	こども教育保育課長	當間 一也	欠席	

オブザーバー

所属	氏名	出欠
株式会社ジャパンエンターテイメント	坂本 恵一	現地参加

事務局

所属	職名	氏名	出欠
沖縄総合事務局 運輸部	運輸部長	本村 龍平	欠席
沖縄総合事務局 開発建設部	建設行政課長	二木 啓	現地参加
沖縄総合事務局 開発建設部	建設産業・地方整備課長	伊波 永舟	現地参加
沖縄総合事務局 開発建設部	建設産業・地方整備課 地方整備官	外間 喜之	現地参加
沖縄総合事務局 開発建設部	首里城復元整備推進室 副室長	中山 弘	現地参加
沖縄総合事務局 運輸部	企画室長	浅山 悠	現地参加

＜ 議 事 録 ＞

番号	発言者	内容
1-1	エンパワメント 沖縄 高嶺委員	資料 1-1 について、沖縄県のリフト付きバスの導入目標は 25%になっているが、実際は 3.5%ということで、これはすごく問題じゃないかと思います。普通の路線バスはだいたいノンステップバスが走っていて、これが 73%という数字になってなかなかいいですが、リフト付きのバスというと、例えば観光バスや高速バスですよね。それから、沖縄だとやっぱり高速バスが、全然バリアフリーになってない。高速バスというと、特に恩納村とか、ホテルに直行するバスですので、ノンステップバスにはなれない。観光客中心だと荷物もあるので、どうしてもリフト付きになると思うので、高速バスはぜひ県の支援で 100%にしてもらわないと、なかなか障害のある人が観光できなくなるっていうのがありますので、お願いしたいと思っております。
1-2	県企画部 兼島課長代理	ノンステップバスについては、毎年補助金をバス会社さんのほうに出させていただいて、導入をどんどん進めているところです。ご指摘があったとおり、リフト付きバスについても、バス事業者さんと協議して進めていきたいと思っております。高速バスのほうにはバスの更新みたいな補助金を出していないと認識しておりますので、そこについては検討したいと思います。
2	おきなわ自立支援センター 田中委員	先ほど議題 5 で玉那覇さんが航空機への優先エリアの設置というお話をされました。質問ではないですが、航空会社のほうで優先搭乗とか、職員の配慮とか、子どもの座席など、そういう配慮はある程度こうやっているとありますが、玉那覇さんが言われるように、できれば優先エリアをお願いしたいという、これについてはもちろん同感です。 ご承知のように、津久井やまゆり園の事件が 10 年前にありました。今年はその慰霊碑をということで、名前を入れた慰霊碑を作ったのですが、実は事件のあった亡くなられた方の名前が警察から発表されなかった。遺族の方たちから名前を出さないでくれという要望があった。その理由として、まず 1 つは、この子に障害があったということを知られたくないと。それともう 1 つは、障害のある子を自分が育てずに施設に入れたというような目で見られるのが嫌だと、というようなことで名前が公表されませんでした。10 年目の今年、慰霊碑を作る時に、実は 19 名の方が亡くなったのに、12 名の方しか名前が書かれていない。7 名の方は、やっぱりまだこういったこと、障害があったということを知られたくないという方が中にはいらっしゃる。 以前ご紹介させていただいたヘルプマークや、県のほうで作っているヘルプカードがありますが、以前、那覇空港に周知ポスタ

番号	発言者	内容
		ーの掲示をお願いしました。ただ、このヘルプマークを実際にどの程度、皆さんが利用されているか気になる。ヘルプマークは、県が推進していただいて、私もいろんなところで話をするのですが、やはり「いない」「つけたくない」という方、それから、障害者手帳も持ちたくないという知的・発達・精神障害の方もいらっしゃいます。だけど、それでもこういう障害があるというメッセージを伝えないと、この方に障害があるかないか分からずに差別になってしまうようなことも起きてしまう。ヘルプマークは、できるだけ皆さんで、いろんなところで啓発をしていただきたい。障害のある方の支援や援助が必要だというようなことを、皆さんにご理解していただけたらと思います。どうぞ皆さんよろしくお願いいたします。
3-1	沖縄県聴覚障害者協会 城間委員	質問が2つあります。1つ目はゆいレールについて、2つ目はタクシーについてですが、今ほとんど、バリアフリーなどでは聴覚障害について学ぶ機会がほとんどないかなと思いましたので、ご意見申し上げたいと思います。 あるろう者でゆいレールを利用している方がいます。2人の方からご意見を聞いたのですが、3、4年ぐらい前、無人駅については、現在はどうなっているのか情報は聞いていませんが、文字情報について、ゆいレールで通勤しているときに周りはざわついていて、1時間ぐらい時間が経っていても、何が起きているのかわからず、他の乗客が駅から出て行くのを見て、自分もついていったということがあり、もっと早く文字情報で伝えてくれたら、すぐに行動に移せたのにという、仕事も遅れてしまったということがありました。やはり耳が聞こえる方はすぐ情報が得られるので行動が早いですね。そのあたりで、聞こえない方が不便さを感じています。また、ゆいレールが途中の駅でストップしてしまったことがあり、そのとき放送がありまして、次の駅に行くのかなと思っていたら周りの方はモノレールを降りていきました。止まったモノレールとはホーム反対側にあるモノレールにみんな乗り換えていました。なぜみんな反対側に乗るのかなと思っていたら、他の方から身振りで「こちら、こちら」というふうに言ってもらえたので、ドキドキしながら、その時は夜でしたので、帰る方向とは逆の方向に乗っていたと。多分、列車の故障だと思います。文字放送でのお知らせなかったのも、すごく不安だったということです。なので、聞こえない私たちにとっては、見える情報としての保障が欲しいと思います。 それからタクシーについてですけれども、病院側にタクシーを

番号	発言者	内容
		待っているロータリーなどがありますよね。タクシーがやってきたので、運転手さんに行き先や施設の場所を説明したのですが、この場所がわからなかったみたいです。車内にはナビがついていなかったようで、ナビを使えばわかることも、説明がしづらかったです。2台目がまた来たので、この施設ですと言ったんですけど、このタクシーにもナビがついていなかった。その時は手話通訳と一緒にだったので、通訳者が補助して言ってくれたにもかかわらず、ナビがついていないので、全く分からなかったと。通訳がいたから、タクシーを電話で呼んでもらったというのもあるんですが、ナビがついているかついてないかというのは、来ないと分からないというのがありまして、個人タクシーだったのかなと思われるんですが、年配の運転手さんだったので、ナビをつけていなかったのか。やはりタクシーにはナビをつけてもらったほうが、いろんなところに行くにも便利ではないかなと思います。聞こえない方1人で乗った時にも、ナビなしではやっぱり説明がなかなか伝わりづらいので、そのあたりを配慮いただければと思います。
3-2	沖縄都市モノレール 長浜部長	放送が文字情報であればいいということ、見える情報が欲しいというところですが、社内に持ち帰って確認します。駅員さんが途中駅だと1人しかいないところもあるので、全部、文字情報をご提供できるかわからないですが、駅の担当に確認して、できる限り見える情報を提供できるように検討したいと思います。
3-3	沖縄県ハイヤー・タクシー協会 津波古事務局長	城間会長、ご意見ありがとうございます。大変お恥ずかしいなというふうに思いますし、状況をもっと知りたいなと思いますが、地理不案内は実際にあると思います。年配のドライバーとおっしゃっていただきましたが、新人のドライバーなどですね。また今、配車アプリというものがだいぶ普及してきておりまして、ほとんどナビがついているのかなと思います。それからご自身のスマホにもあろうかと思うので。実はそういったものが普及する前から、タクシーには地図の備え付けというのが義務付けされています。ですので、昔のやり方ですと、地図帳を見るやり方も実はありますし、新人ドライバーには、全乗務員に研修の中で地図帳を買ってもらってですね、「じゃあ、この箇所はどこにありますか」という研修もさせてもらっています。もちろん、言い訳的になりますが、その乗務員の方が初めて行くところだったかもしれません。とは言っても、「じゃあ、だいたいどこら辺ですか」とか、大きな建物を先にお聞きしたりですね。「私は新人です」とか「分からない」ということもお伝えさせていただきながら、うまくお聞きして目的地まで行くというのがプロのドライバーだと思いますので、そこは足りない部分がたくさんあったのかなとい

番号	発言者	内容
		うふうに反省しました。今後このようなことがないように、研修の機会を捉えて、しっかり対応していけるように努めていきたいと思います。ご意見ありがとうございました。
3-4	沖縄県聴覚障害者協会 城間委員	スマホなど機械の操作が苦手な方もいると思うので、案としては音声認識。例えば、私は沖縄市に住んでいるので、中頭病院に行ってほしいと言った時に、運転手さんが機械の操作が苦手な方でも、音声認識で地図がパッと出てくるようなものとかあると便利なのかなと思いました。入力とかするのが大変な方もいるかもしれないので、音声認識とかも整えてあるといいのかなと思います。
3-5	沖縄県ハイヤー・タクシー協会 津波古事務局長	貴重なご意見ありがとうございます。まだまだ足りませんが、運転席のタブレットと合わせて、後部座席にもタブレットがあります。それが配車アプリGOとかと連携していたり、実はそこで広告を流して収益を得たりということもあったりですね、公的な画像を流してですね、直近でしたら、水難事故が多いので、そういったことに気をつけてくださいねと周知するということも連携させてもらっています。そのタブレットもどんどん進化していますので、一部ではありますが、翻訳機能があったりとか、そういった機能を備え付けているものもありますので、今のご意見も頂戴して、そういったところも普及していければいいなと感じましたので、ぜひ前向きに参考にさせていただきたいと思います。ありがとうございます。
4-1	沖縄県脊髄損傷者協会 仲根委員	まず1つ目については、資料1-1の9ページのUDタクシーの件について。ここの目標数値25%でございますが、ぜひ沖縄は観光立県として、30%目標というものにご検討いただきたく、ぜひお願いしたい。UDタクシーは、これまでのトヨタのジャパントクシーだけでなく、日産の後ろから入るタイプも新たに認められているので、その導入推進をお願いしたい。実は私たちはジャパントクシーよりも日産がいいです、本音を言うと。合わせて、ハイヤー・タクシー協会さんのほうには、3、4年前に、UDタクシーを運営している会社の表示をホームページでお願いして、早速やっていただいて分かりやすいものになったというのは本当にありがたい。ユニバーサルタクシー研修も毎年実施しておりますが、自主的にこのタクシーのサイトのほうに電話を入れて予約を入れると、お断りの理由が「研修を受けたタクシー運転手がいらないんですよ」とおっしゃる。実は、この予約をして来ていただけるヒット率が、正直言うと1、2割、10回やって1回、2回なんですよ。予約できないんですよ。だから手を挙げたほうがよっぽ

番号	発言者	内容
		ど止まってくれる、すると乗車拒否になるので、そういう意味では、このタクシー研修をですね、拡充してほしいなという希望です。この研修プログラムは内容を網羅しており 1 日研修ですが、1 日研修にタクシー会社の方が運転手さんを派遣するのをみんな四苦八苦しているのが現状なので、できたら基礎編で 1 日 2 時間ぐらいのコマで、各会社向けに小さくプログラムを実施していく形で研修目標を設定していただけないでしょうか。そうしないと、「研修を受けていない運転手なんですよ」という、それでいいのかという問題をですね、常に思っているものですから、ちょっと津波古さんには耳が痛い話かもしれないですけど、研修を広げる意味で、こういう基礎編的な小さいプログラムを進めていただきたいというのがございます。 すいません、まだあります。移動円滑化に関する、バリアフリー法の改正はとてもありがたいことです。そこで質問なんですが、沖縄県の「福祉のまちづくり条例」があって、これはもう何年も改正されておらず、国の移動等円滑化、バリアフリー法との整合性が取れなくなっている。8 年ほど前に私どもは沖縄県のほうに条例改正の要望を出しましたが、まだ条例改正に至っていない状況なので、条例改正の動きについて、もしお答えできればお願いしたいと思います。 もう 1 つは、プロモーター活動についてです。これは総合事務局のほうの資料 2 の 2 枚目の下のほうにあります。毎年プロモーター活動で、私もプロモーターの参画をしておりますが、ぜひお願いしたいことは、私たちプロモーターの活用をもっと広げてほしいことと、あと、訪問する市町村の障害者団体の方々、お 1 人でも 2 人でもいいので、オブザーバー参加をですね、促してほしい。なぜかという、結果としてその地域に住んでいる障害を持っている方々が推進の担い手になるわけですから、そういう人たちが共同してプロモート活動をしていただいて、その彼らに役割を継続的にやってもらうという流れを作りたいと思っておりますので、ご検討いただきたいという要望です。 また、次に、資料 3 の建築物のバリアフリー基準の改正とガイドラインというものがありましたが、資料の中にありませんでしたが、ぜひお願いしたいことは、これは国だけではなく、県も市もなんですが、国の国土交通省のほうでは建築物に関する当事者参画ガイドラインを示していて、2 年以内にこのガイドラインを活用して進めるようにということが国土交通省で進められていて、県のほうでもここについてはしっかり勉強されているというふうに聞いておりますが、それ以外の道路とか交通、そういった政策においても、当事者が参画した取り組みをぜひ推進していただきたい。この総合事務局の 3 号館が新しくできていますけれど

番号	発言者	内容
		も、あちらができるときは模型も作ってイメージのスクリーンも作って、きちんと当事者の意見を受けたり、また首里城だったり、いろんな国が作る建築物等については、当事者の意見を聞く機会がすごく広がってきており、とてもありがたいところです。ただ、それが県や市に広がっているかというと、まだまだ。非常に国は頑張っていたらと思っていますが、まだ県・市あたりでの取り組みが不十分なので、そういった当事者参画のガイドラインを活用した政策推進というのをぜひ進めていただきたい、これは要望でございます。 あと、資料5の航空機のことについては、本当に知的障害者の方々の困り感というのはとても共感しますし、私も先だって、LCCで札幌に行くときには、もう捨てぜりふ的な表現も含めて、嫌な思いを実はたくさんしているんですね。例えば、受付を1時間前じゃないとLCCの場合はやらないんですが、車椅子利用の人たちが3、4台行ったら、手続きだけで1時間以上かかるんですね。そしたら遅延につながったとか、本当にいろんなことがあってですね。この航空に関しては、機会があれば、沖縄の当事者団体と航空会社、それと空港のところとの意見交換みたいな形を、ぜひセッティングしていただけるとありがたいなと切に希望します。沖縄県は特に観光立県なので、ぜひお願いしたいです。 それともう1つ、最後に、首里城が復元間近でございます。これについても私たちは今まで過去に意見提言や、また意見交換の場を持っていただきましたので、これまでの経過の説明を受けておりました。素晴らしいものになるだろうと想定しています。以前の首里城は、国際的にもバリアフリーはとても評価のある建物で、ある意味バリアフリーの社会資源と言ってもいいぐらいの素晴らしい施設でした。そこで復元前に、今回ジャングルア沖縄の段取りをしていただきましたが、ぜひ首里城のほうでも、計画案に沿った取り組みがきちんとどんなふうに形になっているのか、この委員会の会議のメンバーの皆さんを募って、ぜひ内覧会を計画していただきたいです。
4-2	県生活福祉部 祝嶺課長	仲根さん、いつもお世話になっています。福祉のまちづくり条例のほうですけれども、私も班長とか班員から話を聞いています。今、仲根さんも一緒に来て検討を進めているというような話も聞いています。今日の午前中も、建築指導課と相談しているということですので、ちょっと今、具体的な時期等は申し上げられないんですけれども、検討を進めているということで、また引き続き、意見交換させていただきたいと思いますので、よろしくお願いします。

番号	発言者	内容
4-3	沖縄県ハイヤー・タクシー協会 津波古事務局長	仲根さん、ご意見ありがとうございます。確かに日産NV、バネットのほうが後ろのほうからスロープを出して乗りやすい、というのも十分承知していますので、事業者はもっと広がっていけばいいなと思っています。あと、本当にお断りするということは心苦しいところでして、正当な理由がない限りはお断りできないんですよ、本当に。「UD タクシー研修を受けていないから」も実は理由にならなくて、UD タクシー、ジャパントクシーのハンドルを握っている以上は、お求めがあればお乗せしないといけないんですよ。車両に標準装備でスロープがついていますので、私どもの研修を受けるのが理想ですが、研修を受けなくても、購入して導入した事業者は、自分の会社で研修して、「この車はこういう装備がついているので、みんなで確認しましょう」というのが本来の形です。そこも含めて、改善していきたいと思っています。あと、最後の、全体研修じゃなくても、短時間での情報共有というか、そういったことも検討していきたいと思いました。ありがとうございます。
4-4	事務局 浅山室長	プロモート活動の件につきまして、ご意見をいただきましてありがとうございます。また、プロモーター活動のほうにご協力いただきましてありがとうございます。ご意見いただきましたとおり、地元の団体の方々もオブザーバーに含めてということで、それも実際、沖縄県内市町村にこの取り組みを広めていく上で重要なと思いましたので、ぜひ検討したいと思います。ご意見ありがとうございます。
4-5	事務局 中山副室長	ご意見ありがとうございました。内覧と言いますか、オープン前に、皆様のご意見を聞きながら、どういうオペレーションをやれば、皆さんに快適に首里城を使っていただけるかということも踏まえて、現地確認いただけるよう検討させていただきたいと思いますので、よろしくお願いいたします。
4-6	事務局 宮城	航空機についてご意見をいただきましてありがとうございます。当事者と航空会社と空港の意見交換会について、担当部署にこういうご意見がありましたということをお伝えし、実施検討できればと思っています。よろしくお願いいたします。